

平成22年度 臨時教育研究評議会議事録

日 時 平成22年4月1日(木) 14時30分～15時55分

場 所 事務局大会議室

出席者 伊東、石井、碓氷、柳澤、山崎、浅利、舩橋、杉山、佐藤、寺村、今野、山本、梅澤、國宗、荒川、酒井、西原、村井、青山、増田、東郷、佐古、高木、鈴木、渡邊修、永津、渡邊尚、田中、三村、加藤の各評議員

欠席者 竹内評議員

陪席者 大戸、塩田の各監事
中村、太田、佐藤の各学長補佐

○ 役員の紹介

議長から、各理事及び監事の氏名及び役割について、資料1に基づき紹介があった。

学長	伊 東 幸 宏
理事(教育担当)	石 井 潔
理事(研究・情報担当)	碓 氷 泰 市
理事(社会・産学連携担当)	柳 澤 正
理事(総務・財務・施設担当) / 事務局長	山 崎 裕 史
監事(非常勤)	大 戸 宏 文
監事(非常勤)	塩 田 進

○ 新任部局長、評議員の紹介

議長から、教育研究評議会名簿により新任部局長及び評議員の紹介があった。

○ 新任課長等の紹介

山崎理事から、平成22年4月1日付け新任課長等について紹介があった。

○ 学長所信表明

議長から、学長就任にあたって、資料2に基づき所信表明があった。

I 審議事項

1 企画戦略会議設置に伴う関係規則の一部改正について

議長から、国立大学法人静岡大学学則第21条に規定する「企画・調整会議」を「企画戦略会議」に改め、同会議の組織及び業務等を見直すとともに、この措置に伴う関連する規則等の一部改正について、資料3に基づき提案があり、委員から企画戦略会議のあり方について、次のような意見があった。(意見交換で出された主な意見)

- ① 構成員に加える学長補佐及び事務局部長等が教育研究評議会から委嘱された教学にかかる案件に議決権を有することには疑問がある。
- ② 「会議の流れ図」の中の企画戦略会議から教育研究評議会への「報告」は、教育研究評議会からの委嘱事項を審議しないこととする場合は、不要となる。
- ③ 審議事項として「本学における基本的な施策等に関する事項」が定められているが、役員会との役割が不明瞭になるため「役員会から委嘱された事項」とする等役割のすみ分けが必要ではないか。
- ④ 基本的な施策等を実質的な審議をする場として「学長室」「企画室」等を別途設けてはどうか。

続いて、議長から企画戦略会議の構成員については、従来の総合戦略会議の位置づけの曖昧さと部局長が加わっていなかったことで議論に限界があった等の問題を踏まえて提案したものであり、「教員」「事務職員」が協働で戦略を立てる場として重視したいとの意見があり、審議の結果、本日出された意見を踏まえ、必要があれば修正等を行うことを前提として、原案を了承した。

2 静岡大学国際交流センター規則の一部改正について

議長から、国際交流センター長の選考において「学長が指名する副学長」から「学長が指名する者」に改め、幅広い人材から適任者指名を可能とするための一部改正について、資料4に基づき提案があり、意見交換・審議の結果、原案どおり承認した。

なお、委員から、国際交流センターは、大学教育センター同様、本学の教育研究にとって極めて重要な位置付けであることから、従来副学長がセンター長を担ってきた経緯があるが、今回の措置により、国際交流センター長は教育研究評議会構成員でなくなることとなり、適切ではないのではないかと意見があった。

3 静岡大学副学長の指名について

議長から、静岡大学副学長の指名について、資料5に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

〔理事で副学長を兼ねる者〕

理事（教育担当）	石 井 潔
理事（研究・情報担当）	碓 氷 泰 市
理事（社会・産学連携担当）	柳 澤 正

〔新たに指名する副学長〕

副学長（企画・評価担当） 浅 利 一 郎
副学長（男女共同参画担当） 船 橋 惠 子
副学長（学生支援担当） 杉 山 融

4 静岡大学経営協議会学外委員の意見聴取について

議長から、経営協議会学外委員について、国立大学法人静岡大学経営協議会規則第2条第1項第4号に基づき意見を伺いたい旨資料6により提案があった。議論の結果、特段異論はなかった。

II 報告事項

1 静岡大学学長補佐の指名について

議長から、3名の学長補佐を指名したこと及び学長補佐の役割について、資料7に基づき報告があった。

〔学長補佐〕

学長補佐（人事労務担当） 中 村 和 夫
学長補佐（FD・SD・広報担当） 佐 藤 龍 子
学長補佐（国際戦略担当） 太 田 慎 一

2 静岡大学評価会議委員の指名について

議長から、評価会議委員の指名について、資料8に基づき報告があった。

3 平成22年度主要会議開催日程について

議長から、平成22年度主要会議日程について、資料9により説明があり、今後①当面、本日程どおり開催し、不都合があれば変更したいこと。②遠隔会議システムの利用については、動作環境や利便性等を検証していきたいとの発言があった。

III その他

1 平成22年度入学式について

議長から、平成22年度入学式を4月4日（日）グランシップ大ホールにて開催する旨報告があり、引き続き、総務課長から入学式の概要について、資料10に基づき説明があった。

2 その他

浅利副学長から席上配付資料「国立大学法人の「順位付け」の結果について」に基づき説明があり、本件について共通理解願いたいとの発言があった。

以 上